

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただくと嬉しいです。2年の節目、ますます頑張ります。



昨年末から渡波の牡蠣を販売していますが、年を越して実が本当に大きくなりました。先日南部市場の方にも良い牡蠣だとお褒めの言葉をいただきました！

新コーナー「うんめえもん市応援団！」

うんめえもん市の活動を陰で支えてくださっている方々に応援メッセージを頂くコーナーです。第一回目をお願いしたのは横浜市経済局の川名一行さんです。2年前の震災の時、石巻に行って支援がしたい！という私達の想いを理解し応援してくださり、うんめえもん市の開催にも尽力いただきました。

ものの始まりが「1」なら、国の始まりは大和の国。
島の始まりが淡路島なら、うまいもの始まりは「うんめえもん市」とくらあ！
よお、そこの旦那、このシジミどうだい？シジミ見てねえでシジミ！どうだい？ おっ、ありがとね！
さあ、奥さん見てよ、このワカメ！ 石巻の特産だよ！毎日食べれば若め（ワカメ）に見えるってね！
えっ？あたしゃ若いって？ こりやまた、スズレイ！
市庁舎8階の会議室で細々と始まった「うんめえもん市」。いくつかの区役所で、市庁舎1階の市民広間で、大勢の市民の方々にまでお知らせできるようになった。
東日本大震災の直後、K2の面々が被災した「仲間」を訪ねて、石巻に向ったことを聴いた。現地では、瓦礫処理や清掃をはじめ、K2ならではの「炊き（タコ）出し」、被災された方々への心の支援が行われた。肅々と、そして着実に使命を果たした彼らは「自ら立つ」だけでなく、「共に立つ」力をつけた。
「うんめえもん市」は単なる特産品の売り買いではない。「情熱・希望・闘志 etc」と「真心・信頼・感動 etc」の等価交換だ。それが被災地支援につながる。私は「うんめえもん市」をそう観ている。
もう一人のK2（川名一行）

うんめえもん市発!震災を忘れない!震災復興記念イベント。@横浜

3月 6日 (水)	NTT東日本神奈川 (NTT社員向け活動報告会)	
3月 9日 (土)	K2本部ビル	10:00~14:00
	B o - s a i 2 0 1 3 (山下公園)	11:00~15:00
	南部市場共栄会イベント	9:00~12:00
3月10日 (日)	天王町 絆バザール	10:00~16:00
	愛と勇気とさんま実行委員会 in 本郷台駅前	10:00~16:00
3月17日 (日)	つづき人交流フェスタ (都筑区役所)	10:00~16:00
3月23日 (土)	第7回横濱三塔物語 (横浜大さん橋)	10:00~19:00

水揚げしたての新鮮な殻付き牡蠣を焼き牡蠣や色んな料理にして、石巻漁師さん達が直販売致します。

3月11日 (月) 第17回 横浜市役所「うんめえもん市」11時~14時
(本庁舎1階スタジアム側入口)

「被災地の今」 14時~15時
~横浜市こども青少年局の鯉渕局長と
石巻牡蠣漁師さん達との懇談会~

みんなで牡蠣剥きの
お手伝いをしたご褒美!
いただきます~す!!



4月のうんめえもん市日程

4月13日(土)	K2本部ビル	10:00～14:00
4月15日(月)	都筑区役所	11:00～15:00
4月22日(月)	横浜市役所(本庁舎1F)	11:00～14:00

【 震災から2年を迎えて、うんめえもん市からのご挨拶 】

2011年の秋、石巻・玉井さんとの出会いをきっかけに、「うんめえもん市」が始まりました。物産の「小売業」は、私個人でも、団体としても全くの未経験分野であり、仕入れから販売、商品・在庫管理まで、「失敗しては修正する」の繰り返しでした。復興支援とは言え、ほんの小さなミスでもそれが経営に致命的な結果をもたらすこと、消費者側の視点の重要性を考えさせられました。それでも、多くの支援者の方々がいるからこそ、また、石巻・玉井さんを含めたチームワークであるからこそ、ここまで来られたのだと思い、感謝しています。

うんめえもん市は2012年8月に持続、継続可能な支援とするため、石巻で法人を設立しました。生きづらさ抱える若者、働くことに困難な若者たちが、自分たちが復興の担い手となり、その働きによって、多くの人から励ましや感謝を得ることで、自信や元気を取り戻し、その彼らが先輩として次につながるからです。

この3月で開催合計145回になりますが、「忘れないこと、続けること、進化すること」をテーマに今後もスタッフ一団力を合わせて一所懸命取り組んでいきます。みなさん、応援宜しくお願いします。

株式会社うんめえもん市 代表 田上 理恵子

～ クローズアップ石巻 part 2 ～

はじめまして、2012年度3月より石巻での現場責任者として現地で生活している香川です。現在30歳、元ひきこもりのK2の塾生でした。私は、震災当時は海外(ニュージーランド)に住んでいたのですが、ちょうど1年が過ぎた時に日本に帰国し、すぐに石巻に来ました。1年前から考えれば、だんだんと状況は改善されているとは思いますが、今でも山積みになっている車や瓦礫、津波で破壊されたまま撤去されていない建物、また津波から止まったままの学校の大時計を見るとその時にどんな事が起こったのか・・・と思えば言葉も出ません。

私が今の石巻で一番身近に問題意識を感じる事は仮設住宅の状況です。私達は仮設住宅で男性のコミュニティー作りが難しいという声を聞き、移動販売車を使って屋台居酒屋として仮設を廻っていますが、住民の方たちは本当に見えない不安の中においてストレスを抱えていると感じます。まさに仮設なわけですが、いつ新しい住まいに移れるかは検討もつかない方も多く、「本当に部屋は狭く仕事道具を入れたら寝るスペースしかないんです。」と部屋を見せてもらったりもしますが、交通の便についてもすごく不便だったり、日常生活を取り戻すにはまだまだほど遠い現実があります。また、仮設の自治会長さんからはひきこもりや自殺未遂、DVなど深刻な課題も多くあると聞いています。

そんな状態ですが、ボランティア団体も資金面、人材面の問題から縮小、撤退が多く、実際に昨年秋ごろまでは仮設で見かけていた他のボランティア団体もこの頃は見かけなくなりました。

震災から2年が経ちますが、石巻を忘れないで続けて応援していただきたいと願っています。うんめえもん市の活動は被災された生産者さんや地域の方への直接的な支援になるだけではなく、若者就労支援の支援にもなっています。

K2石巻では3月から新たに短期～長期滞在できるgs-K2(ゲストアンドシェア)ハウスをオープンしました。家庭的な雰囲気の良い住まいです。石巻にきた事のある方もない方もぜひ石巻にお越しいただき、私達の現場をぜひ見てください。お待ちしております～!

K2石巻代表スタッフ 香川 昌喜

やっべす通信発行元 NPO ヒューマンフェローシップ
うんめえもん市事務局
TEL045-762-1435 (田上・亀山)